

第6学年 体育科学習指導案

日時 2013年11月27日(水) 5校時
児童数 男子18名 女子13名 計31名
指導者 森脇 克典

1 単元名 タグラグビー (ボール運動)

2 単元の目標

- ・友だちと協力し合って、楽しく練習やゲームに取り組もうとする。

(態度)

- ・自分の力量に合っためあてを立て、その達成に必要な練習を選んだり、工夫したりすることができる。

(思考・判断)

- ・守りでは相手にプレッシャーをかけたり、タグを取ったりすることができる。
攻撃では相手をうまくかわしたり、パスをしたりすることができる。

(技能)

3 単元について

- ・タグラグビーの特性

生涯スポーツのうち有名なものに、サッカーやソフトボール、バレーボールなどがある。ラグビーは怪我も多く、危険なスポーツという認識が一般的であり、競技人口は少ない。そんな中でラグビーのウォーミングアップとして、タグラグビーが普及しつつあり、タグラグビー大会なども全国各地で催されている。タグラグビーは手軽で危険の少ないスポーツである。また、児童の発達段階に応じたルールの設定も可能である。他のボール運動と共通する技能も多く、その養成も可能である。そこで、タグラグビーがもつ特性を十分に生かし、学校体育の位置付けようと試みた。

- ① 単純さ タグラグビーは、走ったりパスをつないだりしながら、敵陣を突破してゴールラインまで運ぶという単純なゲームである。ルールも単純でわかりやすく、誰でもすぐにプレーできる。
- ② 安全性 ディフェンスは、腰についているタグを取るだけで、コンタクトプレー(ぶつかり合い)も少なく、難しさや怖さもない。
- ③ 柔軟性 児童の実態に応じたルールを設定できる。例えば、攻撃権の交代については、タグを取られた回数で決めたり、ボールを落としたら交替するなどの工夫ができる。トライするまでに何回タグを取られたかを競ったり、低学年などでは前へのパスを認めるなどもできる。
- ④ 手軽さ タグとボール(ドッジボールのボールでもできる)、フィールド(室内でもできる)があればできる。ルールも単純で、セルフジャッジもしやすい。
- ⑤ 全員参加 走力や技能が不十分でも楽しめる。走力がなくてもパスでカバーできる。積極的にボールにプレーしなければ、ディフェンスから離れることになり、逆にパスレシーバーになりやすい。従って、ゲーム中で全くプレーに関わらないプレ

ーヤーは滅多にいない。

- ⑥ 共通技能 タグラグビーのオフenseは、相手をおかわして走る、攻撃に有効なスペースを見付け、移動する、パスをする、パスを受けるなど、サッカーやバスケットなどと共通した技能を必要とする。
- ⑦ 技能養成 タグラグビーは、他の球技と共通する技能を必要としている。しかし、ゲームは単純で、展開も早く、個々の児童がプレーに関わる機会も多い。また、ボールを手で持ってプレーするので、他の球技に比べ技能面の向上が図りやすい。こうした、特性から、他の球技の練習としても有効なスポーツとなり得ると考えられる。

・児童の実態

本学級の児童は、元気で明るい。特に、男子は休み時間も外で汗だくになりながら遊び、普通の授業も意欲的で活発である。女子は、比較的小となしいほうであるが、仲良く遊ぶことができている。これまでの学級遊び（お楽しみ会など）は、外で野球やキックベースボール、体育館では、バドミントンやソフトバレーなどを行い、非常にスポーツが好きな学年である。けれども、運動意欲はもっていても、運動技能が身に付いていない児童がたくさんいる。例えば、走ることや、ボール運動は得意だが、跳び箱や鉄棒などの器械運動や水泳が苦手であったりする傾向がある。今年に入って、自分で出来ないことを克服したいという思いで、こつこつと練習する姿勢が見られるようになってきた。

それは、体育の学習についてのアンケート調査にも表れた。体育の授業が好きな児童は半数以上であり、理由として、「体を動かすのが楽しい」、「できなかったことができてうれしい」など、多数が回答した。逆に、きれいな児童はいなかったが、あまり好きでない児童は数人で、理由として、「運動があまり得意でない」と回答していた。また、好きな学習活動として、ボール運動が半数以上、苦手な学習活動として、器械運動が半数以上いた。しかしながら、5年生になって身に付いた学習として、器械運動と回答する児童も多く、これから身に付けたいものとしても、器械運動と回答した児童が多数であった。

今回、まずは子どもたちが好むボール運動の中から、タグラグビーという新しい学習を通して、さらに、運動量を豊富にし、頭と体、そしてチームとしてのなかま意識も培えるようにしたいという思いでこの教材を選んだ。

・指導について

誰もが、タグを付けて、タグを取り合うだけで、楽しそうに活動するイメージができる。それが、「タグラグビー」の良いところである。導入の段階から、子どもたちが、簡単に楽しめる回数を増やしていくことで、タグやボールなどに慣れさせていきたい。特に、ボール運動が苦手な子に、「これならできる。」という思いをしっかりと持たせるとともに、タグラグビー大会をするまでに、十分に、ルールを理解させ、自分たちで準備やジャッジなどもできるようにしていきたい。また、なかま意識をさらに育てることに重点をおきたい。なかまのがんばりを認めたり、助け合ったりすることがたくさんできるように、タグやボールを使ったチーム対抗のゲームの中で配慮していきたい。そして、この授業を終えたときに、児童から「また、この授業をしたい」と声がるように、授業を進めていきたい。

4 指導計画（総時数 6時間）

| 時 | 主なねらい・学習活動 | 評価規準（評価方法） |
|-----------|---|--|
| 1 | タグを使った遊びやゲーム① ・タグに慣れさせる ・タグを取ったり、取られたりする、楽しさを感じさせる （「タグ取り鬼ごっこ」や「ねことねずみ」など） | ・友だちと協力して、積極的にゲームに参加している （態度） ・タグラグビーに必要な技能に気付くことができる （思・判） |
| 2 （本時） | タグとボールを使った遊びやゲーム② ・タグとボールに慣れさせる ・タグラグビーに近付けた、ボール運動やゲームをする | ・友だちと協力して、積極的にゲームに参加している （態度） ・ゲームにつながるルールを理解できる （思・判） ・ボールをコントロールしたりパスの受け渡しができる （技能） |
| 3 | パスのスキル練習とゲーム ・パスの仕方やもらい方の練習方法を示す ・グループでパスの受け渡しの練習をする ・試しのゲーム | ・友だちと協力して、積極的に練習や試合に参加している （態度） ・練習や試合の中でパスの受け渡しができる （技能） |
| 4 | ランプレー、防御のスキル練習とゲーム ・ランプレーや防御の練習方法を示す ・グループで練習をする ・試しのゲーム | ・友だちと協力しながら、グループ練習に参加している （態度） ・練習や試合の中で、相手をおかわしたり、タグを取ったりできる （技能） |
| 5 | 試しのゲーム ・大会を想定したゲームを行う | ・友だちと協力しながら、積極的に試合に参加することができる （態度） ・ルールを理解し、攻守の切り替えができる （思・判） ・タグを取ったり、かわしたりすることができる （技能） |
| 6 | タグラグビー大会 ・4チーム編成 1チーム7人～8人 ゲームには5～6人が参加 | ・友だちと協力しながら、積極的に試合に参加することができる |

| | | |
|--|--|--|
| | <p>残りは応援観戦をしてみわっていく</p> <p>1チーム3試合で、1人2試合は参加できるようにする</p> <p>コートは体育館1面 1試合の時間 約4～5分</p> <p>試合順</p> <p>① 赤 対 白 ④ 白 対 黄</p> <p>② 青 対 黄 ⑤ 赤 対 黄</p> <p>③ 赤 対 青 ⑥ 白 対 青</p> | <p>(態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールを理解し、攻守の切り替えができる <p>(思・判)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タグを取ったり、かわしたりすることができる <p>(技能)</p> |
|--|--|--|

5 本時の学習 (2/6)

(1) めあて

○タグやボールを使って、タグラグビーの楽しさを味わうことができる

(態度)

○自分なりのめあてをもち、友だちと協力しながら練習を楽しむことができる

(思考・判断)

○タグの装着と取り方や返し方などの扱いができる

(技能)

○ボールの持ち方やパスの仕方など、ボールの基本的な扱い方ができる

(技能)

(2) 展開

◎重点評価 ○指導上の留意点 ※危険性の配慮

| 学習活動 | 学習活動への支援・評価 | 準備 |
|-----------------|---|--|
| 1 学習内容の確認をする | <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてと活動の流れを確認させる <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">タグとボールに慣れよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> めあてを確認して、意識付けさせる | |
| 2 準備運動と柔軟体操 | <ul style="list-style-type: none"> ・体育係を中心に準備体操 ・体ほぐしと柔軟体操 | |
| 3 タグを使った、ゲームを行う | <p><u>ペアを組んで、タグ取りゲーム</u></p> <p>手をつないで、片方同志で取り合う</p> <p>タグを取れば「タグ」と声を出させる</p> <p><u>4色に分かれて、タグ取りゲーム</u></p> <p>他チームの人のタグを取りに行く</p> <p>2本取られた人は、端で待機する</p> <p>タグを取れば、「タグ」と声を出させる</p> <p>◎タグを取ったり、取られないために、自分の体をうまく動かせることができる</p> <p>(技能)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ビブス4色 ・タグ ・音楽 ・コーン |

| | | |
|---------------------------|---|---------------|
| <p>4 ボールを使ったゲームを行う</p> | <p>◎チームの応援をすることができる (態度)</p> <p>○強引にタグを取ったり、タグを手で押さえたりしないようにさせる</p> <p>※友だち同士や物との激しい接触がないように気をつけさせる</p> <p><u>4色のグループに分かれ、円陣を組んでパス回しゲーム</u></p> <p>タイムや順位を決めて、目的意識を強める。発展させたパス回しをさせる</p> <p>最後は、「トライ」と言って、全員座る</p> <p>◎優しく、ていねいにグループで協力し合っ てパスの受け渡そうとしている (思・判) (技能)</p> <p>○スムーズにパスができるように助言する</p> | <p>・ボール4個</p> |
| <p>5 タグとボールを使ったゲームを行う</p> | <p><u>1オン1をする</u></p> <p>赤と白 青と黄に分かれて、攻守を切り替えて繰り返し活動させる</p> <p>攻撃陣は、ボールを持って相手陣内に入っていく</p> <p>守備陣は、阻止するためにタグを取りに行く</p> <p>タグを取れば「タグ」と声を出す</p> <p>ゴールすれば、「トライ」と声を出す</p> <p>◎相手の動きを読み、タグを取ったり、かわしたりすることができる (思・判) (技能)</p> <p>○自信をもって、攻守に参加できるように声をかける</p> <p>※1対1の激しい接触がないように気をつけさせる</p> | |
| <p>6 振り返りをする</p> | <p>・めあてを振り返り、個人の反省と、次の授業に向けての確認事項を伝える</p> | |